

共生・公正・創造



東日本タイムズ号外

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~JRTU-HWU/>

ジェイアール東日本労働組合
 〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
 TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
 発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

民主化の声・声・声...

【その36】 2006.2.20

東労組定中で嶋田派 8 人組全員肅正！

2月9日、日暮里ラングウッドで開かれた東労組定期中央委員会で、注目されていた2002年10月末の東労組本部役員集団辞任8人組の制裁が決定されたようだ。8人組の内、5名【阿部・宮坂（当時、中執＝新潟地本）、本間・神田（当時、中執＝横浜地本）、百瀬（当時、中執＝長野地本）】は除名、残りの3名【嶋田・関根（当時、副委員長＝新潟地本）、小林（当時、中執＝新潟地本）】は、すでに退職し東労組組合員でないため除外された模様。今回の制裁で、嶋田派8人組が結果的に全員排除されたことになる。

また、このほかにも千葉地本の野口（当時、成田支部委員長）が組合員権停止5年、長野地本執行部5名【 峰田委員長、小池委員長代行、関書記長は、昨年11月の長野地本臨時大会の内容が本部方針に反していたというもの。 臼井長野支部委員長、岡村地本青年部長は、指令第11号（峰田委員長の執行権停止）を認めない団結署名および公印偽造をしたというもの】に対する制裁審査委員会設置を決定したようだ。昨年大会での横浜地本7人の組合員権停止処分や今回の千葉地本、長野地本の制裁の動きを見ると、反本部派は、根こそぎ肅正ということになる。

反対分子を排除しないと団結が保てない？

いままで新潟地震等で処分を先送りにしてきたが、今回なぜ根こそぎ肅正をしたか、それは、来賓としてきていたJR総連小田委員長の『12・7の家宅捜索は、権力、嶋田HP、小説労働組合、宗形本の連携プレーで行われた』という挨拶からも伺い知ることができる。また、千葉書記長の総括答弁でも「権力から仕掛けられている攻撃は松崎さんに焦点をあてたもの。嶋田HPや小説労働組合は組織破壊を目的にし、そもそも8人の辞任が原因だ」と言っている。つまり、今回の松崎明元顧問の横領事件での家宅大捜索は東労組にとって大きな打撃であり、処分を先送りにすると総団結が保てないという判断があったのだと思う。

これに対し当然、嶋田派（新潟・長野地本）は反対票を投じたいが、協約協定や諸規則改正で賛成にまわっていることからしても、本気で分裂する気はないのだろう。いずれにしても激化する内部抗争に振り回される組合員は、たまったものではない。反対意見を抹殺し、自由にものが言えない本部絶対主義、松崎明氏個人崇拜主義は、東労組がもはや労働組合ではない証左である。石川委員長が『制裁を決定したが、今日で区切りをつけ前進しよう』と声高に叫んでも、組合員はまだまだ続く内部抗争（権力争い）に辟易している。

J R 東日本ユニオンは、みなさんの加入をいつでも心から歓迎します。

民主化の声・声・声・・・（続く）